

令和6年度都市計画マスタープラン進行管理表

		実行(Do)	点検・評価(Check)	改善(Action)
鳥居本地域	国道8号バイパスの整備促進	米原工区については、国において令和7年秋の供用開始に向けて工事が進められています。 また、先線（彦根～東近江）については、事業化に向けて都市計画決定の手続きが進められています。	彦根～東近江の区間の都市計画決定については遅延しています。	彦根～東近江の区間については、令和7年度の都市計画決定の予定です。
	地域幹線道路の改良	市道内町三ツ割線道路改良事業について、国土交通省が施行する一般国道8号鳥居本地区歩道整備事業の進捗と整合を図り、用地補償を行いました。 一般国道8号鳥居本地区歩道整備事業について、国土交通省から用地取得事務の委託を受け、用地補償を行いました。	国土交通省が歩道整備工事に着手しました。	市道道路改良事業について、引き続き国道歩道整備事業の進捗と整合を図り、事業を推進します。 国道歩道整備事業について、用地取得事務を進めます。
	矢倉川などの河川改修による洪水対策	一級河川矢倉川の改修工事が県により進められました。	上流区間が新たに整備実施区間に位置付けられ、引き続き改修工事が実施される予定です。	特になし
	中山道鳥居本宿周辺の歴史的なまちなみを活用したまちづくりの推進	滋賀県景観行政団体協議会が取り組む「歴史的街道景観まちづくり」のタウンミーティングを彦根市で開催し、中山道の宿場町における景観まちづくりのきっかけづくりに取り組みました。	予定どおり	彦根市景観計画（令和7年4月改定・施行）に沿って、景観まちづくりの周知啓発を引き続き行います。
	佐和山城跡の史跡指定とその活用	現在、史跡指定に向けて報告書の作成を進めています。	遅延しております。	事業を進めるため、滋賀県と連携を深め、指導・協力を得ます。
	彦根駅周辺への都市機能の集約と銀座街を中心とする中心市街地の活性化	立地適正化計画を策定し、彦根駅周辺への都市機能の集約化を図ります。 銀座街を中心とする中心市街地活性化については、銀座街まちづくり懇談会を開催し、銀座商店街のまちづくりについて話し合いを行いました。	予定どおり	今後も任意で銀座街まちづくり懇談会を毎月開催し、情報共有を行います。

令和6年度都市計画マスタープラン進行管理表

		実行(Do)	点検・評価(Check)	改善(Action)
旧城下町地域	彦根駅前周辺道路のバリアフリー化、ウォークアブルの推進による歩行者空間の機能向上	彦根駅前広場の再整備は、関連事業（彦根駅周辺 官民連携まちなか再生推進事業）の策定に伴い、整合を図りながら計画を見直すこととしました。 令和7年度に道路空間利活用社会実験の実施予定です。	財源確保の課題から、事業を休止とします。	社会実験の実施に向けて関係機関と協議を行います。
	彦根総合スポーツ公園と隣接する市管理の金亀公園の利活用	不足していた駐車場の拡張工事に着手しました。 公園の維持管理について、公募設置管理制度を活用した事業者の公募を行いました。	拡張に合わせ、不適正な利用者に対する対応が必要です。また過年度からの施設整備によるレイアウト変更に伴い、案内サインの修正が必要です。 本市では初めての試みとなる公募設置管理制度であり、事業実施に向けた協議調整が必要です。	不適正利用に対し、駐車場ゲートを設置し有料化を行います。併せて公園周辺を含めた案内サインの整備を行います。 決定した事業者等と協議調整を行い、令和8年度の事業開始を実現します。
	伝統的建造物群保存地区やその他城下町でのまちなみの保存・活用	彦根市河原町芹町地区伝統的建造物群保存地区の歴史的まちなみを保存するため、国の補助制度を活用し、伝統的建造物の修理事業およびそれ以外の建築物の修景事業に対し、事業実施現場において施工者等へ修理等への指導・助言や協議を行いました。	予定どおり	特になし
	特別史跡彦根城跡内の観光駐車場の段階的な郊外移転とシャトルバス運行や新たなモビリティによる彦根城周辺の観光環境の向上	彦根IC付近の駐車場と彦根城周辺を結ぶシャトルバスを運行させるパーク・アンド・バスライドの社会実験を平成29年度から令和4年度の6年間にわたり、計7回実施しました。 また、新たなモビリティとして令和4年度から令和4年度の2年間にわたりグリーンスローモビリティ社会実験を実施しました。	今年度の事業進捗はありません。	これまでの社会実験の結果を考慮し、今後の本格実施について検討していきます。
	南彦根駅周辺への都市機能の集約	都市機能の集約化として、文化とスポーツの交流地域となる新市民体育センターの整備を進め、令和4年12月に供用を開始し、都市機能の集約化を図りました。	予定どおり	図書館の整備による、更なる都市機能の集約化を図ります。

令和6年度都市計画マスタープラン進行管理表

		実行(Do)	点検・評価(Check)	改善(Action)
新市街地地域	スポーツ・文化交流センターや新たな図書館(【仮称】中部館)の整備を中心とするまちの賑わい創出	新市民体育センターと地域交流センターの合築整備を契機とした、南彦根駅周辺地区における一体的かつ集中的なまちづくりを進めるために、都市再生整備計画(南彦根駅周辺地区)を策定しており、計画に沿った各種事業を実施しています。 令和5年度に新たな図書館の整備も含め、都市再生整備計画(南彦根駅周辺地区第2期)を策定しました。	予定どおり	南彦根駅周辺の更なる賑わい創出を実現します。
	JR神宮踏切付近の交差点の改良	市道彦根口川瀬馬場線(岡町工区)道路改良事業について、踏切道改良に係る協議を行いました。	今年度の事業進捗はありません。	引き続き地元関係者および鉄道事業者と協議を行います。
	都市計画道路大藪磯線の延伸	「彦根市道路整備プログラム」に整備着手優先路線として位置付けています。	今年度の事業進捗はありません。	特になし
	平田川や野瀬川の河川改修による洪水対策	一級河川野瀬川の改修工事が県により進められています。平田川については、改修について検討が行われています。	予定どおり	改修についての検討を引き続き行われる予定です。
彦根駅東地域	彦根駅東土地区画整理事業区域内の土地利用の促進	土地区画整理事業としては概成しており、換地処分は完了しました。	土地利用促進に向け、現在模索中です。	彦根市立地適正化計画との整合を図りながら、未利用地の有効利用を目指します。
	野田山地区における工業系用途地域の低未利用地への企業誘致	立地希望があった企業に対して、用地紹介を行いました。 また、企業立地促進条例による助成制度を企業に活用いただけるように制度の周知を図り、企業における用地開発を支援しています。	立地希望企業に紹介可能な物件については、既に随時紹介していますが、造成済みで紹介可能な未利用地はごく少ない状況です。	引き続き用地情報の取得に努め、企業立地促進条例の活用等により、企業の用地開発を促進していく必要があります。
	都市計画道路原松原線の整備と彦根IC付近の市道拡幅	原松原線都市計画街路事業は、滋賀県が施行しており、令和6年12月に彦根お城トンネルが開通し、供用を開始しました。 市道中山道線ほか1線道路改良事業について、滋賀県が施行する原松原線都市計画街路事業の進捗と整合を図り、用地補償および道路改良工事を行いました。 市道東沼波線道路改良事業について、滋賀県が施行する原松原線都市計画街路事業の進捗と整合を図り、道路改良工事を行いました。	原松原線都市計画街路事業：予定どおり 市道中山道線ほか1線道路改良事業：1年間予定遅れ 市道東沼波線道路改良事業：予定どおり(暫定供用)	原松原線都市計画街路事業について、継続して原町交差点周辺の工事が実施される見込みです。 市道中山道線ほか1線道路改良事業について、令和7年度完了見込。 市道東沼波線道路改良事業について、国道306号取付部交差点改良の令和6年度完了をもって事業を休止します。

令和6年度都市計画マスタープラン進行管理表

		実行(Do)	点検・評価(Check)	改善(Action)
	彦根IC付近でのパーク・アンド・バスライド駐車場の整備	パーク・アンド・バスライド駐車場の整備に向けた国の支援事業の適用について検討を進めており、様々な支援事業の中から最良な方法を検討している状況です。	今年度の事業進捗はありません。	引き続き最良な方法を検討していきます。
	幹線道路の後背地などでの住居系用途地域への見直し	居住機能と生活サービス機能のバランスがとれた住宅地とするため、用途地域の変更など土地利用の規制・誘導を検討します。	今年度の事業進捗はありません。	今後、用途地域の変更を実施する予定です。
南彦根駅東地域	南彦根駅周辺への都市機能の集約	彦根市立地適正化計画の中間見直しを行い、旧ひこね燦ぱれすを図書館として有効活用することにより、南彦根駅周辺の核として、スポーツ・文化・健康・子育てのほか、図書館サービスの充実を図るため、図書館を誘導施設として設定しました。	予定どおり	今後も都市機能の集約につながるよう努めます。
	高宮地区における工業系用途地域の低未利用地への企業誘致	立地希望があった企業に対して、用地紹介を行いました。 また、企業立地促進条例による助成制度を企業に活用いただけるように制度の周知を図り、企業における用地開発を支援しています。	立地希望企業に紹介可能な物件については、既に随時紹介していますが、造成済みで紹介可能な未利用地はごく少ない状況です。	引続き用地情報の取得に努め、企業立地促進条例の活用等により、企業の用地開発を促進していく必要があります。
	彦根口駅の駅舎などの整備	近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会において、他の施設等を含め検討を進めます。	予定どおり	引き続き検討を進めます。
	公共下水道雨水幹線整備による内水浸水対策	高宮新川排水区において、整備に向けた協議を関係機関（国道）と行ないました。	予定どおり	関連する国道8号歩道整備と整合を図りながら事業を進めます。
	中山道高宮宿周辺の歴史的なまちなみを活用したまちづくりの推進	滋賀県景観行政団体協議会が取り組む「歴史的街道景観まちづくり」のタウンミーティングを彦根市で開催し、中山道の宿場町における景観まちづくりのきっかけづくりに取り組みました。	予定どおり	彦根市景観計画（令和7年4月改定・施行）に沿って、景観まちづくりの周知啓発を引き続き行います。
	河瀬駅周辺での居住促進	居住誘導の促進に向け、平成30年3月に策定した彦根市立地適正化計画に基づき、緩やかな集約都市の形成を図るため、立地適正化計画の周知を図りました。	予定どおり	引き続き周知を図っていきます。
	河瀬公園の整備	整備が完了し、全面供用開始しました。	達成	地域の賑わい創出に資する取組や地域防災活動の場としての活用できるよう、適切な管理に努めます。

令和6年度都市計画マスタープラン進行管理表

		実行(Do)	点検・評価(Check)	改善(Action)
河瀬地域	荒神山公園の機能強化	公園利用者の利便性向上に努めています。	予定どおり	引き続き公園利用者の利便性向上に努めます。
	市街化調整区域における集落コミュニティの維持のための地区計画の検討	市街化調整区域における地区計画制度の運用基準を策定し、その中で既存集落型地区計画を位置付けています。	今年度の事業進捗はありません。	市街化調整区域における地区計画制度の運用基準の周知を図っていきます。
	良好な農地や荒神山などの自然景観の保全	河瀬駅自由通路で史跡荒神山古墳等のパネル展示を実施し、荒神山の古墳をめぐる歴史探索ウォークや発掘調査現地説明会を行うことで啓発と公開に努めています。 「滋賀の眺望景観ビューポイント30選」のパンフレットやポスターを用いて、選ばれた荒神山からの眺望の周知啓発を行うことのほか、改定に取り組んだ彦根市景観計画において、眺望景観の基本方針を位置付けました。	予定どおり	貴重な荒神山の眺望景観を守るため、引き続き周知啓発を行うほか、彦根市景観計画（令和7年4月改定・施行）に沿って、自然景観の保全に努めます。
稲枝地域	稲枝駅周辺での公共交通の利便性の向上	平成31年4月から、湖東圏域地域公共交通再編実施計画に基づき運行しています。また、令和5年度策定した湖東圏域地域公共交通計画に沿って、引き続き稲枝駅周辺の公共交通についても検討を進めます。	予定どおり	令和5年度に策定した湖東圏域地域公共交通計画に基づき、現状の運行の維持することとしておりますが、将来の稲枝地域に必要な公共交通については引き続き検討する必要があります。
	稲枝駅周辺での居住促進	居住誘導の促進に向け、平成30年3月に策定した彦根市立地適正化計画に基づき、緩やかな集約都市の形成を図るため、立地適正化計画の周知を図りました。	予定どおり	引き続き周知を図っていきます。
	稲枝駅西側地区での稲枝公園の整備を含むまちづくりの推進	稲枝駅西側地区に都市公園を整備するため、過年度に策定した基本設計に基づき、地質調査や詳細設計を行いました。	財源確保の課題から予定より遅延しています。	都市公園の整備について、引き続き基本設計に基づき詳細設計を行います。 今後も、企業立地などの地域の活力の拠点として土地の有効活用ができるように地域と協力して取り組みます。

令和6年度都市計画マスタープラン進行管理表

	実行(Do)	点検・評価(Check)	改善(Action)
市街化調整区域における集落コミュニティの維持のための地区計画の検討	市街化調整区域における地区計画制度の運用基準を策定し、その中で計画明示型地区計画、既存集落型地区計画を位置付けています。 計画明示型地区計画では、稲枝駅西側地区地区計画を令和5年1月に都市計画決定を行いました。令和7年度に市街化区域に編入されます。 既存集落型地区計画では、下石寺町地区地区計画は令和7年4月1日に都市計画決定予定です。	予定どおり	稲枝駅西側地区地区計画については、この地区計画を第一歩として、今後の稲枝駅西側地区のまちづくりの推進に向けて地域の意向を十分汲み取りながら、進めていきます。 下石寺町地区地区計画については、今後既存集落コミュニティの維持のため、周知を行います。
幹線道路沿道での「道の駅」の設置について調査研究	未着手	今年度の事業進捗はありません。	必要性に応じて研究を行います。